

2026年 福島連帯キャラバン 報告書

全港湾東海地方清水支部青年部
部長 前嶋皓介

3月4日～7日に開催された福島連帯キャラバンに自分は初めて参加させてもらいました。実際に現地に行き、目で見て肌で感じ、現地の声に耳を傾ける。他人事ではなく自分事として自分の言葉で発信する。絶対に風化させない。それこそが今回参加したキャラバン隊の使命であると思います。

1日目の結団式から始まり、2日目のフィールドワークと伝承館見学では15年前から時間が止まっている世界、現地の人々のリアルな声を聞かせてもらえました。もし自分や自分の身の回りに同じことがおきたらと考えると言葉が出ませんでした。壊れたものを直すだけが復興ではない。目には見えない問題も山積みであること。3日目には東海第二原発の周囲30キロ圏内にある各自治体へ要請書を直接提出する要請行動を行いました。原発再稼働見解について「不明」としている自治体がこんなに多いことに驚きました。この現状がある限り、自分達キャラバン隊は戦い続けます。4日目には代々木公園での全国集会にキャラバン隊全員で参加し、脱原発。原発の無い世界を求め声をあげてきました。この4日間でメディアでは映されない世界、聞こえない声を沢山感じる事が出来ました。自分に出来る復興支援とは何か。この経験を自分は絶対に無駄にはしません。東北地方青年部の熱さや団結力も含めてこの4日間とても貴重な時間をありがとうございました。

今後も様々な経験や活動を通して全港湾青年部の絆をより強固なものにしていきましょう。